

家庭における青少年の携帯電話・スマートフォン等
の利用等に関する調査結果報告書（抄録版）

令和2年2月

東京都都民安全推進本部

調査実施の目的

本調査は、東京都内の小・中学生、高校生の子供に携帯電話・スマートフォンを持たせている保護者に対して、子供が利用する携帯電話等の利用状況や意識等を調査することで、東京都青少年健全育成条例に係る施策推進の基本資料とすることを目的に実施したものである。

調査方法

調査方法：インターネットパネルを利用したアンケート調査

※調査会社提携先の登録会員に対してWeb画面上のアンケートを実施

調査期間：令和2年1月17日（金）～令和2年1月22日（水）

調査対象

調査①：都内在住の小学生・中学生・高校生の保護者（都内在住）2,000名

調査②：都内在住の小学生・中学生・高校生に携帯電話・スマートフォン等を持たせている保護者（都内在住）2,000名

調査①、調査②ともに、東京都区部と市町村部での人口比率をもとに以下の割付表を作成し、回答の回収を行った。

	東京都内 (区部)	東京都内 (市町村部)	合計
小学生（1～3年生）の保護者	350	150	500
小学生（4～6年生）の保護者	350	150	500
中学生の保護者	350	150	500
高校生の保護者	350	150	500
合計	1,400	600	2,000

調査結果を見る上での注意事項

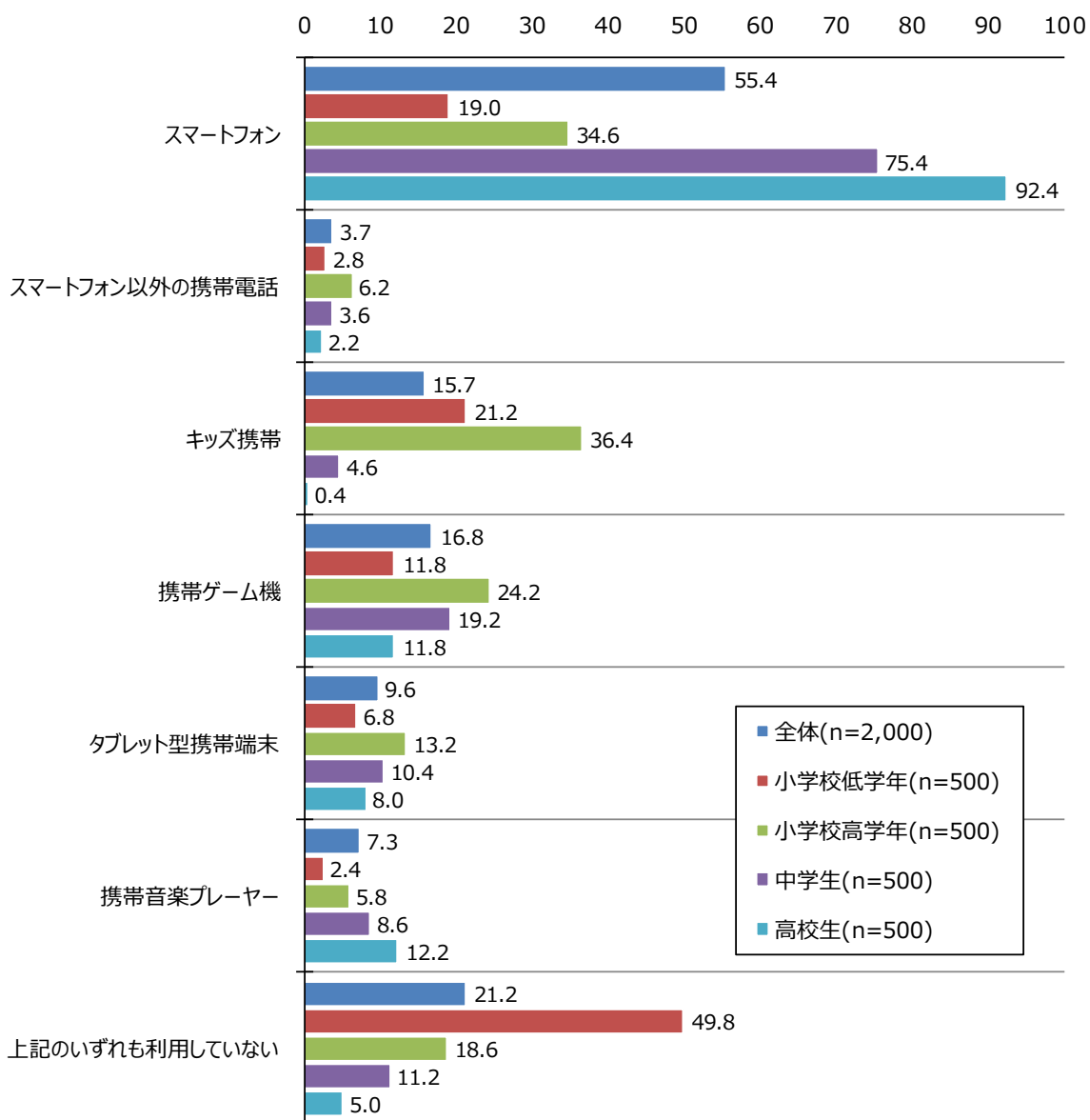
- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は各設問に対する回答者数である。
 - ・百分率（％）の計算は小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ設問）において、四捨五入の影響で、％を足し合わせても100%にならない場合がある。
 - ・複数回答（2つ以上選んでよい設問）においては、％の合計が100%を超える場合がある。
- 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。

1. 携帯電話・スマートフォン等の利用について

(1) 機器の利用について

Q1 あなたのお子さんに、現在所有（お子さん専用のもので購入・譲渡したもの）させている機器を選んでください。（いくつでも）

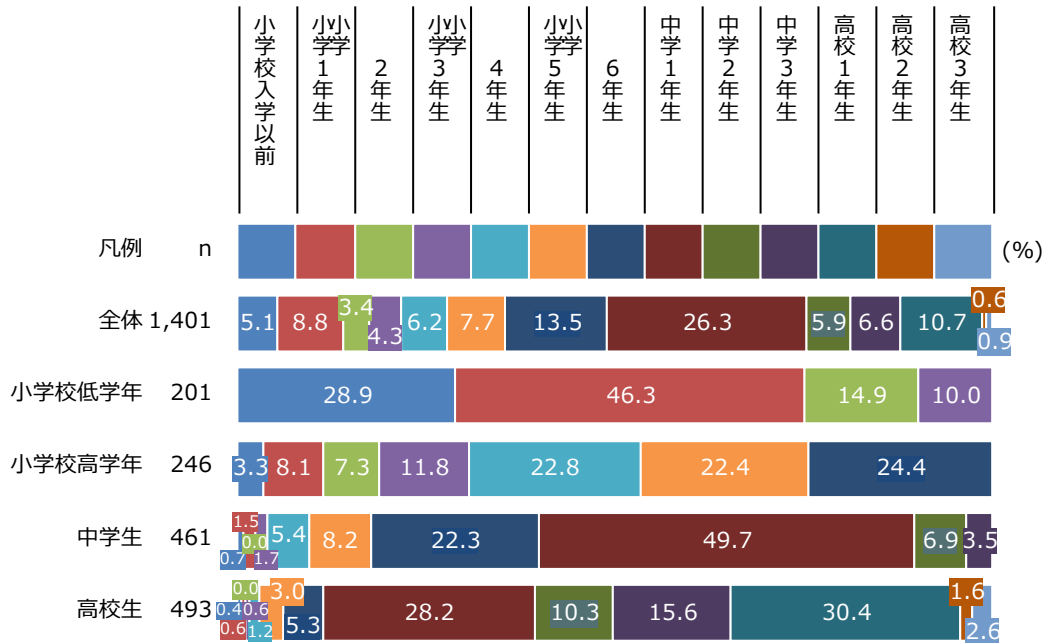
子供が利用している機器は、利用割合が高い順に「スマートフォン」が 55.4%、次いで、「携帯ゲーム機」は 16.8%、「キッズ携帯」は 15.7%、「タブレット型携帯端末」は 9.6%、「携帯音楽プレーヤー」は 7.3%、「スマートフォン以外の携帯電話」は 3.7%となっている。



(3) スマートフォンを所有させた時期

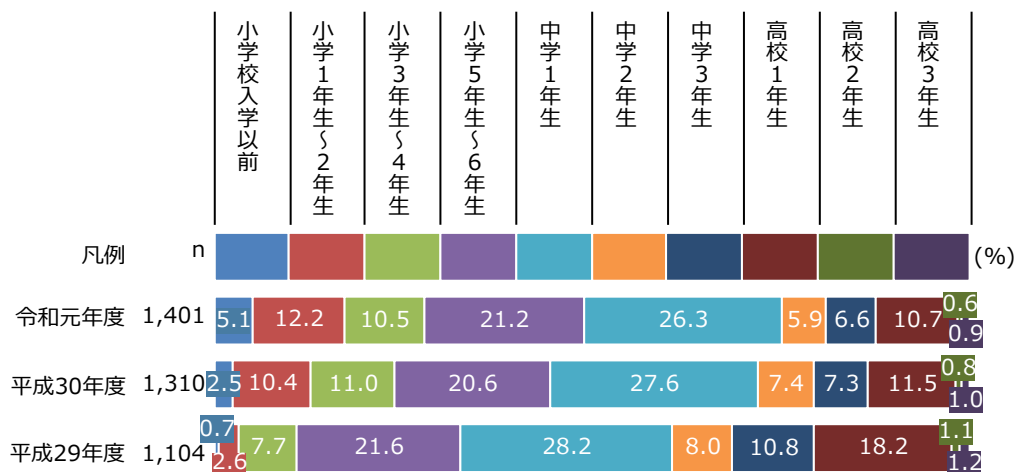
Q3-1 お子さんに、初めてスマートフォンを所有（お子さん専用のものとして）させた時期はいつですか。（1つだけ）

子供にスマートフォンを持たせた時期は、「中学1年生」が26.3%と最も高く、次いで「小学6年生」が13.5%となっている。《小学校入学以前、小学生》で持たせ始めている割合は49.0%、《中学生》が39.9%、《高校生》は11.2%となっている。



【参考：過年度調査との比較／スマートフォンを持たせた時期】

過年度調査と比較すると、《小学校入学以前、小学生》は、令和元年度が49.0%であり、平成30年度より4.5ポイント高くなっている。

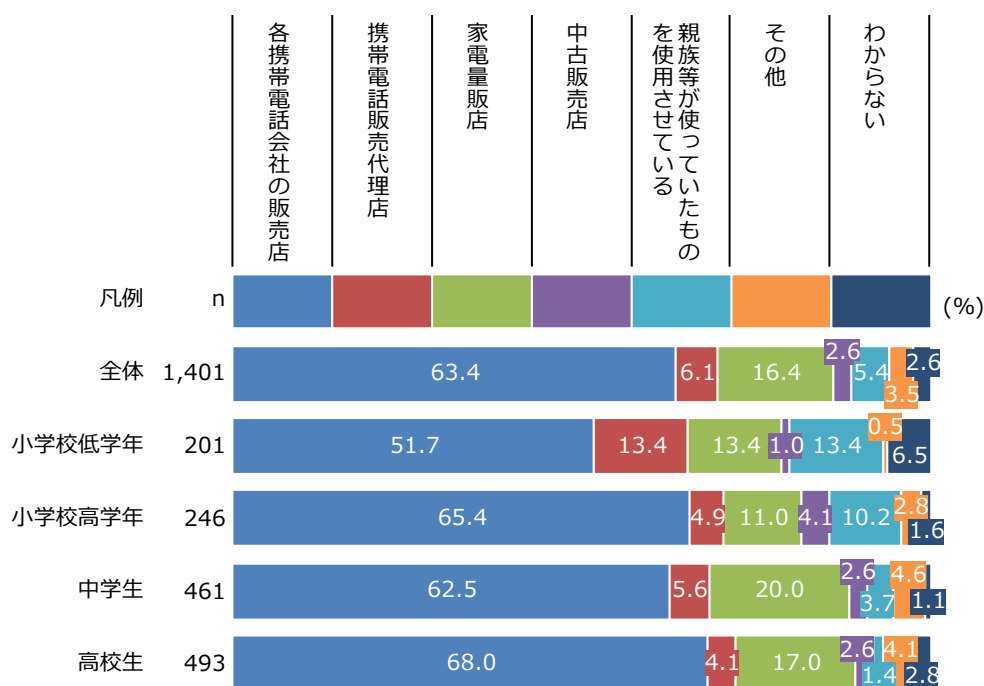


(9) スマートフォンの購入場所

Q5 お子さんが所有しているスマートフォンは、どこで購入等されましたか。(1つだけ)
 ※インターネットで購入した方は、その店舗のカテゴリーで回答してください。

子供が利用しているスマートフォンの購入場所は、「各携帯電話会社の販売店」が63.4%で最も高く、次いで「家電量販店」が16.4%、「携帯電話販売代理店」が6.1%となっている。

児童・生徒別では、「各携帯電話会社の販売店」は、小学校高学年以上では6割を超えているのに対して、小学校低学年では5割程度となっている。一方で、小学校低学年では、「携帯電話販売代理店」が13.4%と、他に比べて高くなっている。また、「親族等が使っていたものを使用させている」は小学校低学年と小学校高学年では1割を超えているのに対して、中学生は3.7%、高校生は1.4%となっている。



【その他（主な内容）内訳】

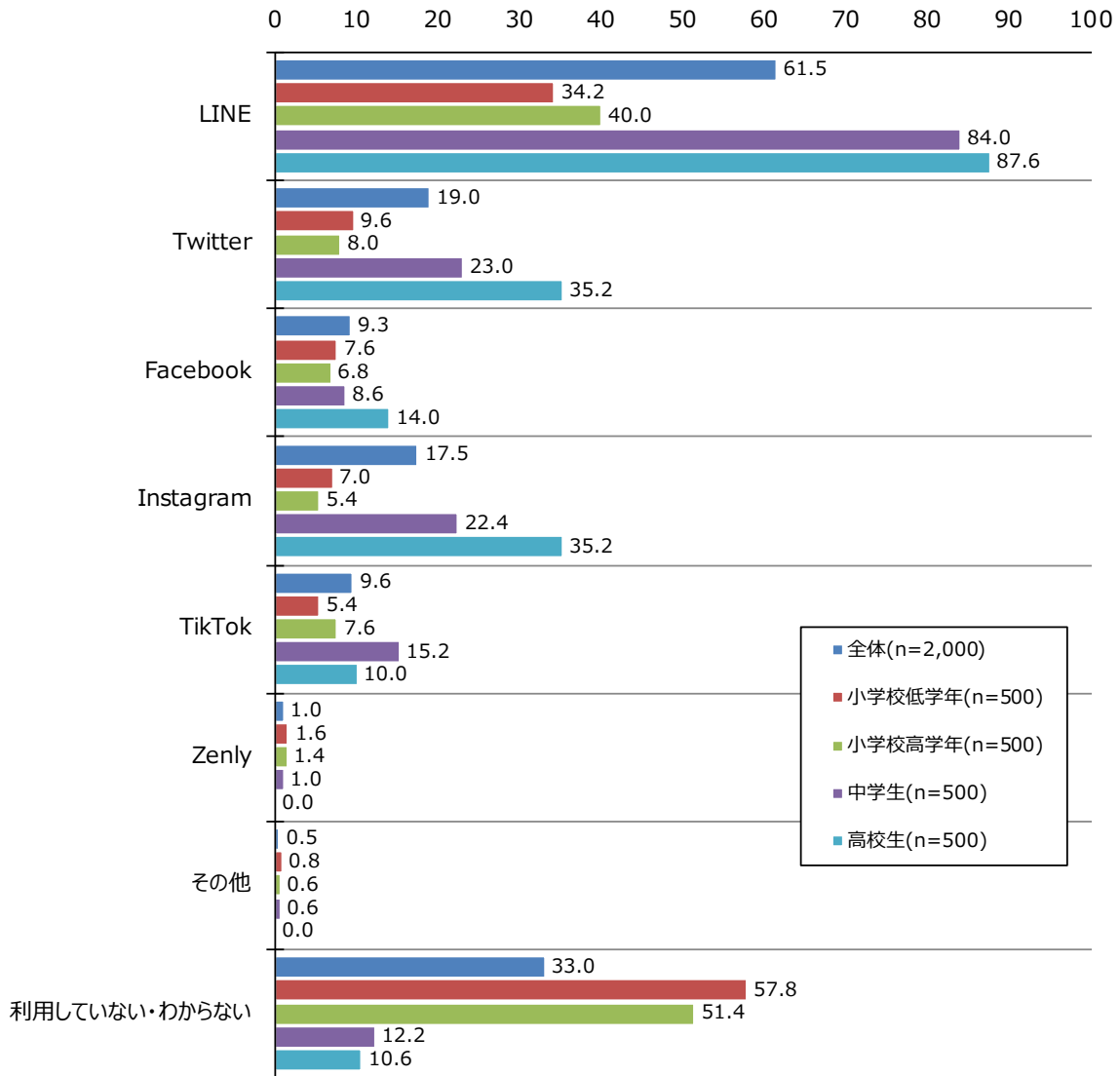
その他（主な内容）	件数	(%)
・通販（アマゾン、など）	26	1.9
・アップルストア	13	0.9
・(MVNO などの) キャリア直販	9	0.6
・家族のおさがり	1	0.1
その他 合計	49	3.5

(1) 利用している SNS

Q8 お子さんが利用している SNS は次のうちどれですか。(いくつでも)

どのような SNS を利用しているかについては、「LINE」が 61.5% と最も高く、次いで「Twitter」が 19.0%、「Instagram」が 17.5% となっている。

児童・生徒別では、「LINE」は小学校低学年が 34.2%、小学校高学年が 40.0% と 4 割あるいはそれ以下であるのに対して、中学生は 84.0%、高校生では 87.6% と、利用率が 8 割を超えて



いる。

【その他（主な内容）内訳】

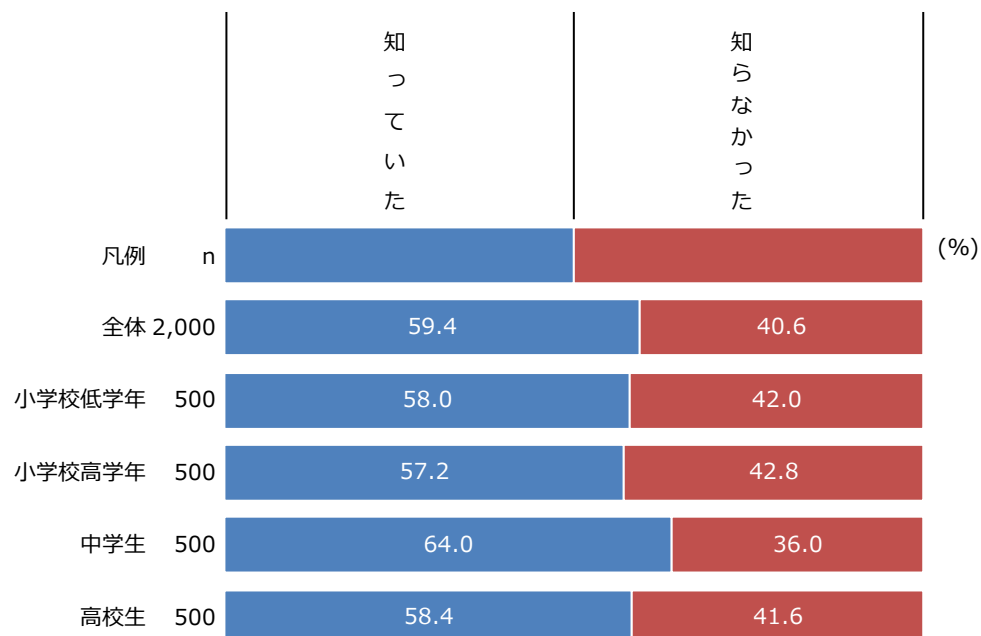
「ワッツアップ」「メッセージ+」「ハングアウト」「タイムライン」「カカオトーク」「wechat」が 1 件 (0.1%) ずつで、「その他 合計」が 10 件 (0.5%)。

(2) SNS 利用にかかわる年齢制限の認知

Q9 一部の SNS に、利用規約上、年齢制限があることを知っていますか。(1つだけ)
※Twitter, Facebook, Instagram, Tiktok は 13 歳以上

一部の SNS に、利用規約上、年齢制限があることを「知っていた」は 59.4%、「知らなかった」は 40.6%となっている。

児童・生徒別にかかわらず、「知っていた」は 6 割前後となっている。

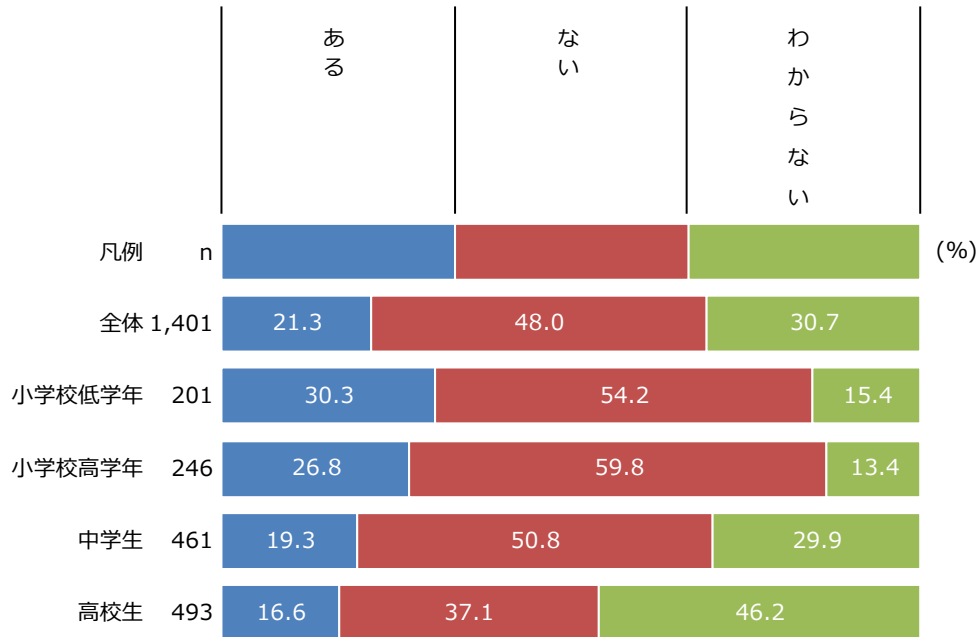


(3) SNS等を通じた知らない人とのやり取りの有無

Q10お子さんが、SNSやインターネットを通じて知らない人とやり取りをしたことがありますか。(1つだけ)

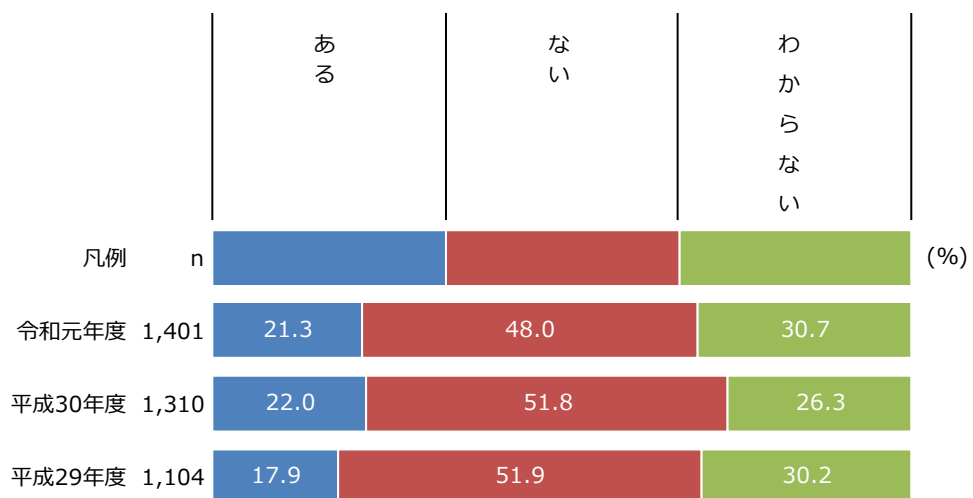
子供におけるインターネットを通じた知らない人とのやり取りの有無は、「ある」が21.3%、「ない」が48.0%、「わからない」が30.7%となっている。

児童・生徒別では、小学校低学年では「わからない」が15.4%、小学校高学年が13.4%、中学生が29.9%、高校生が46.2%と、年齢が上がるにしたがって「わからない」割合が高くなっている。



【参考：過年度調査との比較／SNS等を通じた知らない人とのやり取りの有無】

過年度調査と比較すると、「ない」は、令和元年度が48.0%であり、平成30年度より3.8ポイント低くなっている。

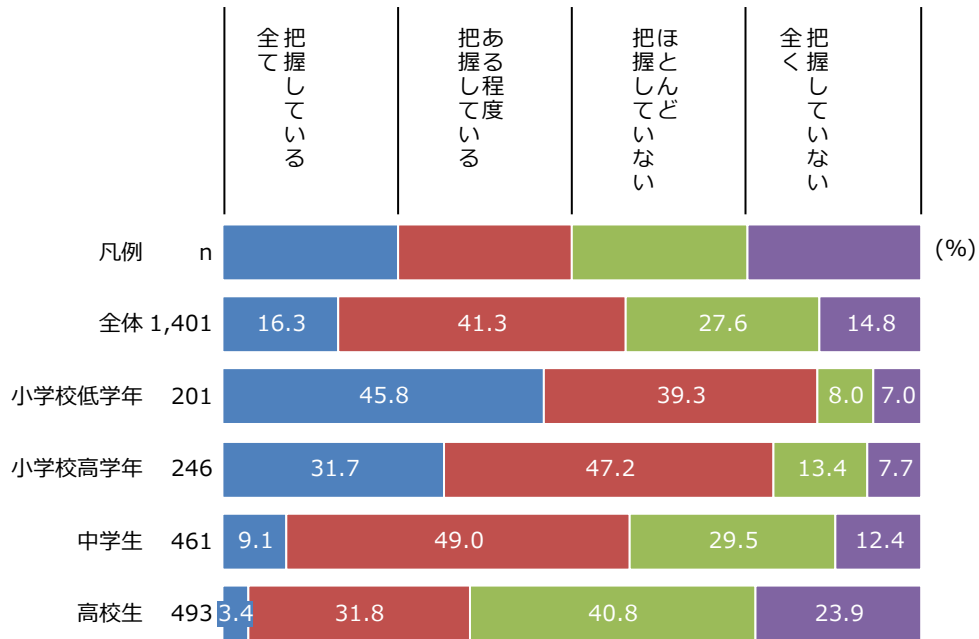


(4) SNS等でやり取りしている相手の把握状況

Q11 お子さんが SNS やインターネットを通じてやり取りしている相手を、どの程度把握していますか。(1つだけ)

子供の SNS やインターネットでやり取りしている相手の把握状況は、「全て把握している」が 16.3%、「ある程度把握している」が 41.3%、これらを合わせた《把握している》割合は 57.6% となっている。

児童・生徒別では、小学校低学年では《把握している》が 85.1%、小学校高学年が 78.9%、中学生が 58.1%、高校生が 35.3%と、年齢が上がるにしたがって保護者が子供の相手を把握している割合が低くなっている。

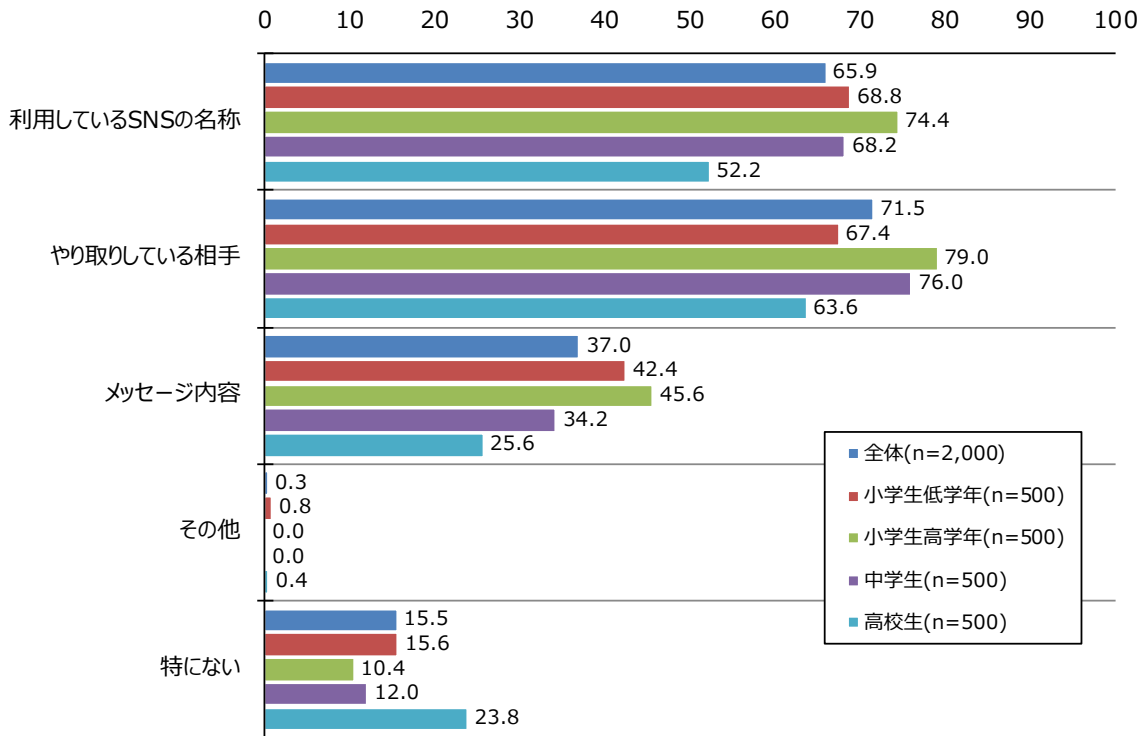


(5) 保護者が知っておいた方がよいと思う SNS の内容

Q12 お子さんが利用する SNS について、子供が一定の年齢まで、保護者の方が知っておいたほうが良いと思うものはありますか。(いくつでも)

保護者が知っておいた方がよいと思う SNS の内容は、「やり取りしている相手」が 71.5%、「利用している SNS の名称」が 65.9%、「メッセージ内容」が 37.0%となっている。

児童・生徒別では、小学校高学年で「やり取りしている相手」が 79.0%、「利用している SNS の名称」が 74.4%と 7 割を超えて、他に比べて高くなっている。



【その他（主な内容）内訳】

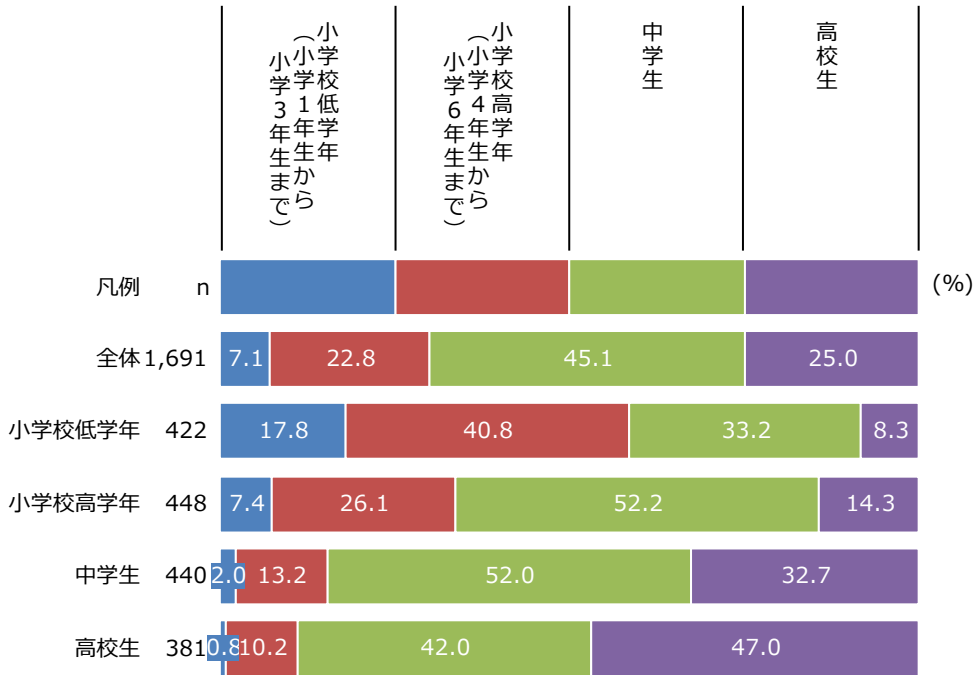
その他（主な内容）	件数	(%)
・使い方（閲覧履歴、使用時間帯など）	3	0.2
・その他の回答（アカウントなど）等	3	0.2
その他 合計	6	0.3

(6) 保護者が子どもの SNS の内容を把握すべき年齢

Q13 保護者の方がお子さんの SNS 内容を把握すべき年代はいつまでだと思いますか。
(1つだけ)

子供の SNS 内容を把握すべき年代は、「中学生」が 45.1%、「小学校高学年」が 22.8%、「高校生」が 25.0%で、「小学校低学年」は 7.1%となっている。

児童・生徒別では、小学校低学年では「小学校高学年」が 40.8%で最も高く、小学校高学年と中学生では「中学生」がそれぞれ 52.2%、52.0%で最も高く、高校生では「高校生」が 47.0%で最も高くなっている。

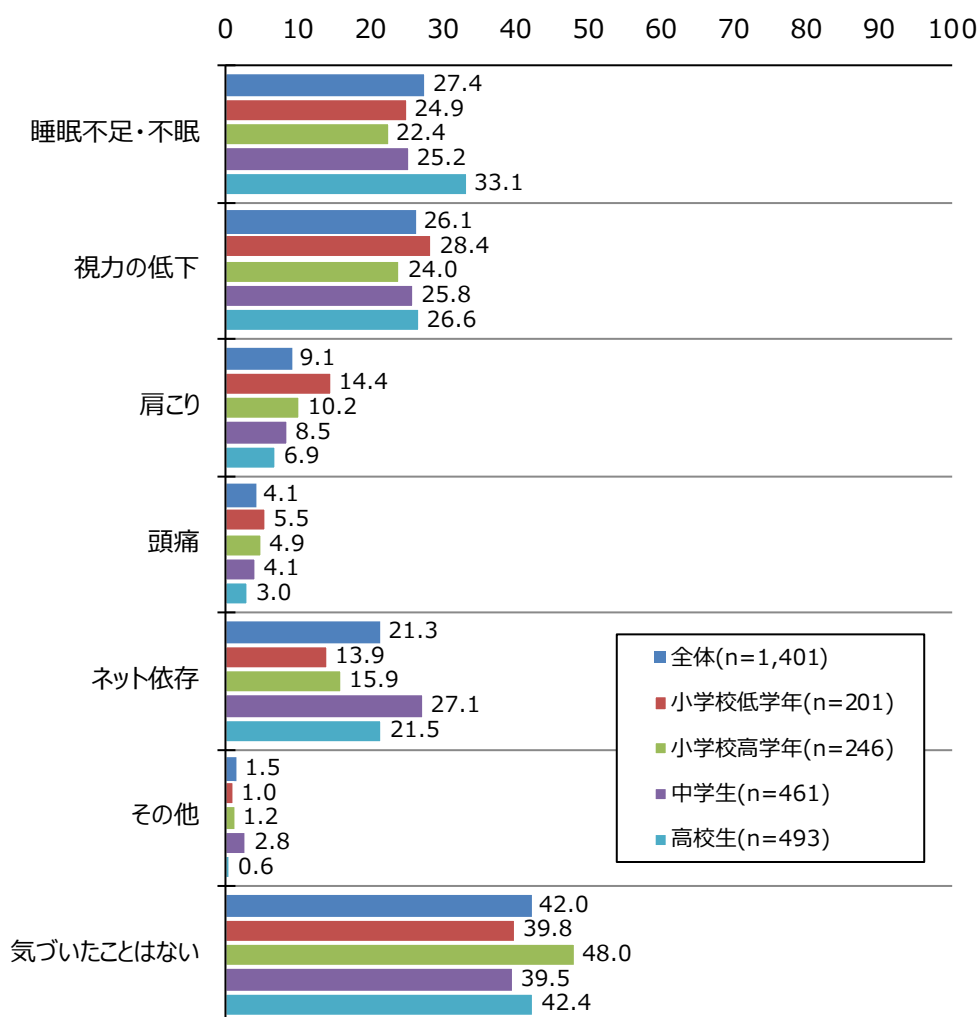


(1) スマートフォンを持たせて気づいたことの有無・内容

Q15 お子さんにスマートフォンを持たせたことにより、気づいたことはありましたか。
(いくつでも)

子供にスマートフォンを持たせたことにより、気づいたことは、「睡眠不足・不眠」が27.4%、「視力の低下」が26.1%、「ネット依存」が21.3%となっている。

児童・生徒別では、小学校低学年と小学校高学年では「睡眠不足・不眠」と「視力の低下」がともに2割台となっている。中学生と高校生では、「ネット依存」も2割を超えている。



【その他（主な内容）内訳】

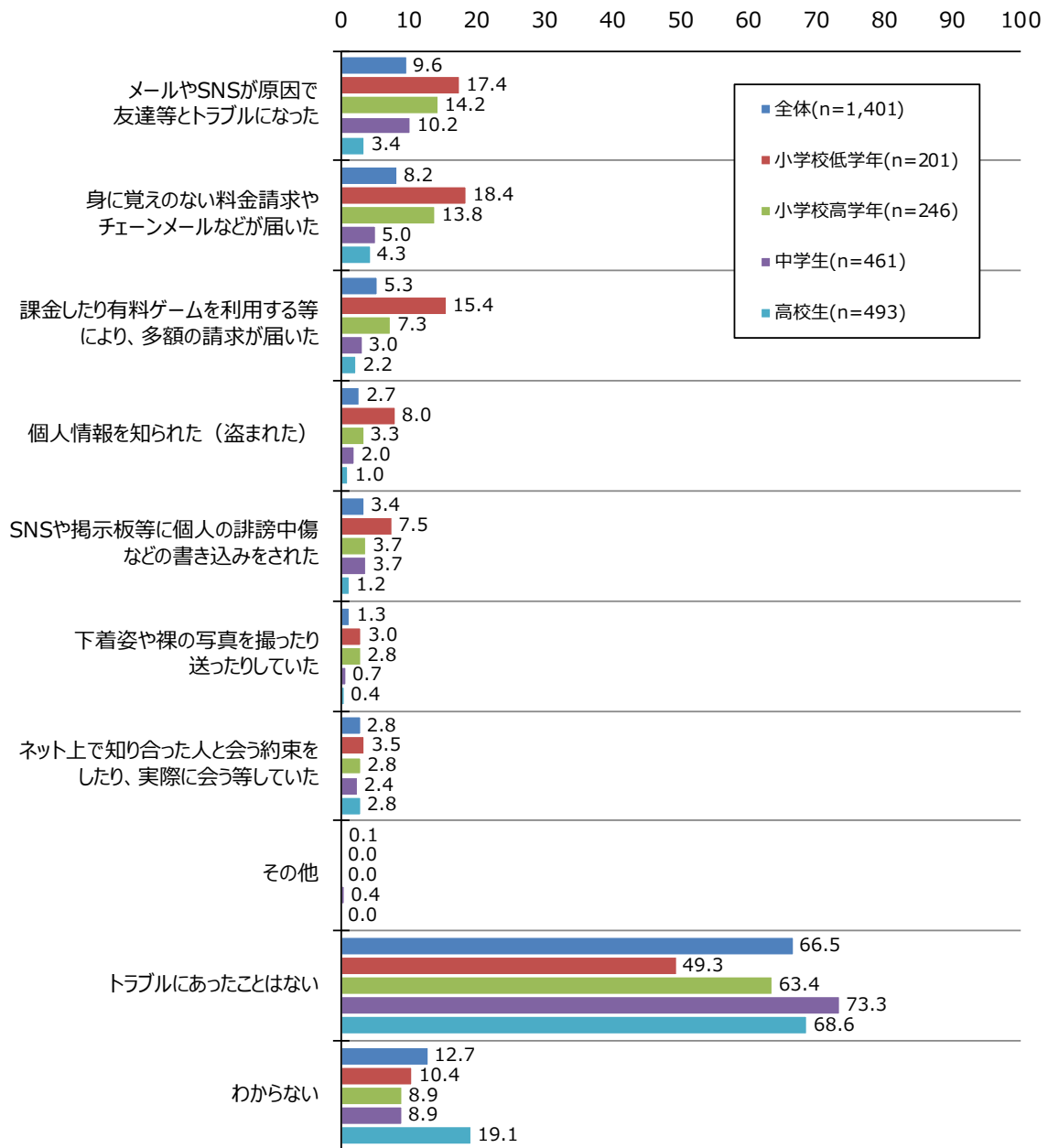
その他（主な内容）	件数	(%)
・使いすぎ	5	0.4
・学習面での悪影響がある・姿勢が悪くなった	5	0.3
・知識が増えた	3	0.2
・その他の回答（隠し事をする、運動不足、欲しがるものが増えた）等	8	0.6
その他 合計	21	1.5

(2) スマートフォン利用によるトラブルの有無・内容

Q16お子さんがスマートフォンを利用する中で、トラブルにあったことがありますか。
(いくつでも)

子供がスマートフォンを利用する中でのトラブルについては、「トラブルにあったことはない」が66.5%で、「メールやSNSが原因で友達等とトラブルになった」が9.6%、「身に覚えのない料金請求やチェーンメールなどが届いた」が8.2%となっている。

児童・生徒別では、小学校高学年、中学生、高校生では「トラブルにあったことはない」が6割～7割となっているのに対して、小学校低学年では5割程度となっている。



【その他(主な内容)内訳】

「番号の前の持ち主に宛に連絡がくる」「親に内緒で買い物をした」が1件(0.1%)ずつで、「その他 合計」が2件(0.1%)。

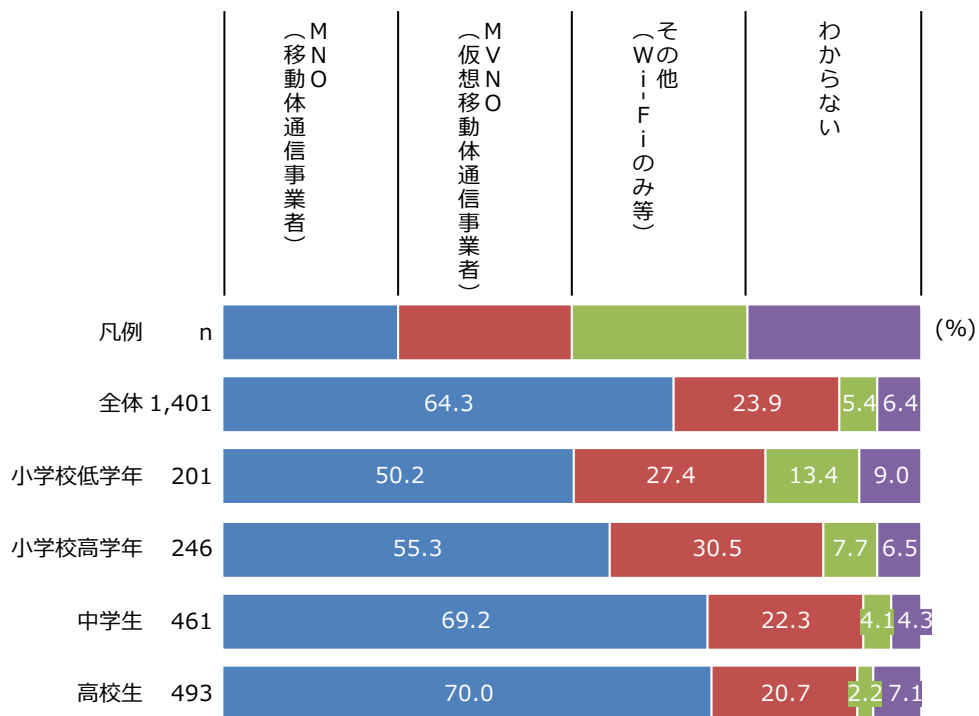
1. フィルタリングについて

(3) スマートフォンの通信事業者

Q34お子さんのスマートフォンの通信事業者をお答えください。(1つだけ)

スマートフォンの通信事業者については、「MNO (移動体通信事業者)」が 64.3%、「MVNO (仮想移動体通信事業者)」が 23.9%となっている。

児童・生徒別では、「MNO (移動体通信事業者)」は、小学校低学年が 50.2%、小学校高学年が 55.3%、中学生が 69.2%、高校生が 70.0%と年齢が上がるにしたがって割合が高くなっている。「MVNO (仮想移動体通信事業者)」は、小学校高学年が 30.5%と最も高くなっている。

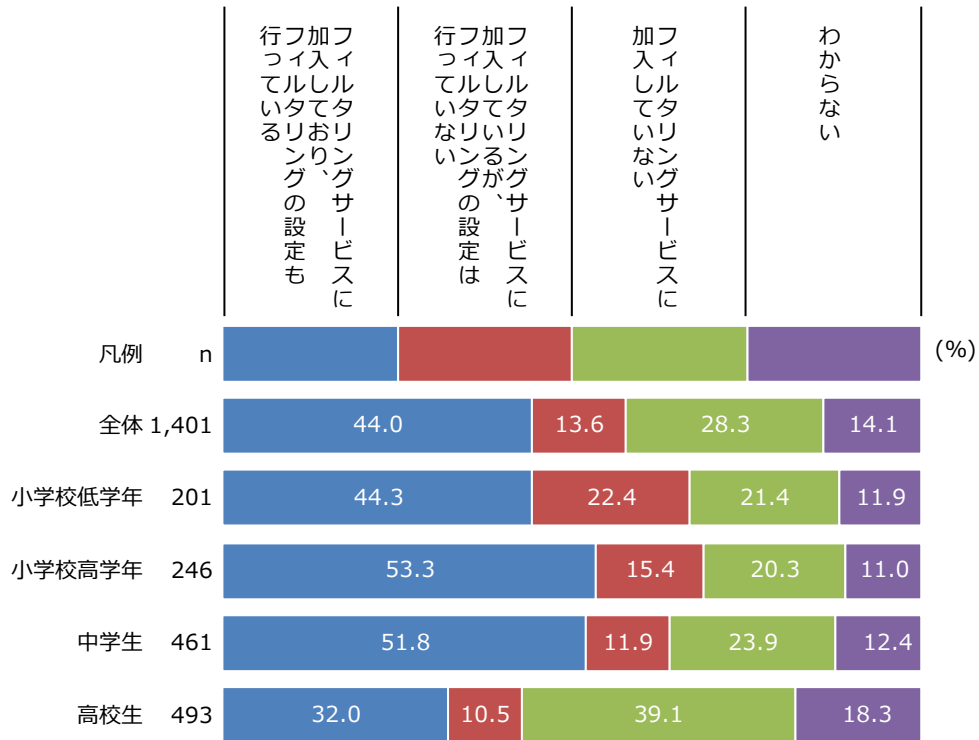


(4) (スマートフォンについて) フィルタリングサービスの利用状況

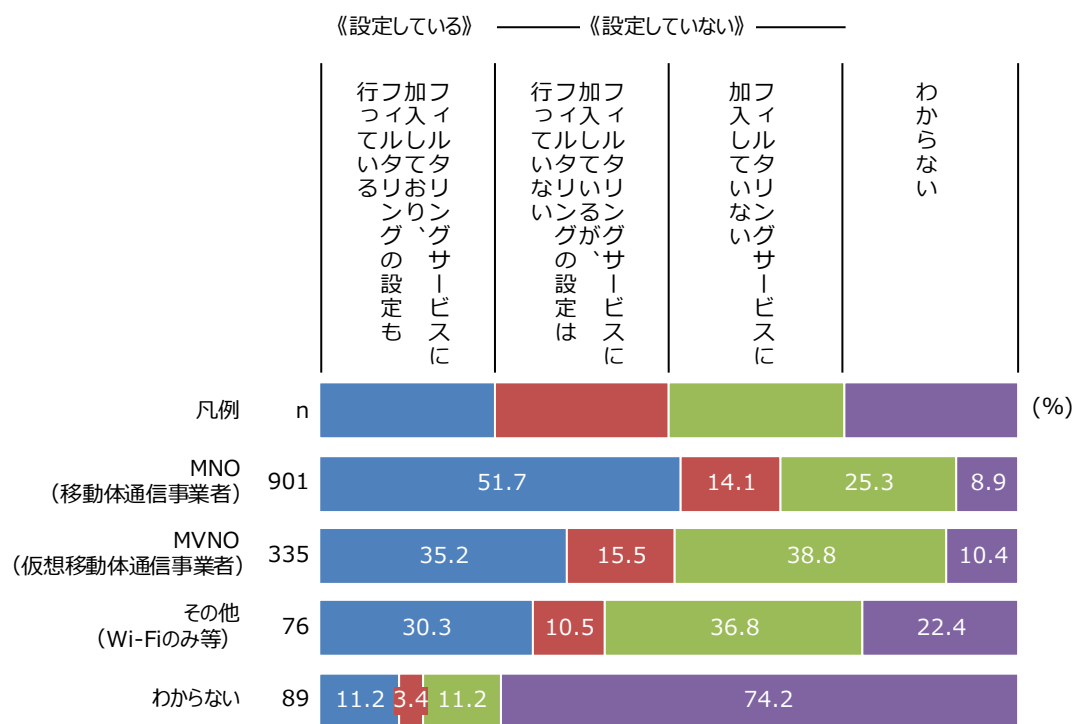
Q35-1 お子さんが利用しているスマートフォンについて、フィルタリングサービスの利用状況をお答えください。(1つだけ)

フィルタリングサービスの利用状況は、「設定している」が44.0%、「加入しているが、設定は行っていない」(13.6%)と「加入していない」(28.3%)を合わせた《設定していない》が41.8%、「わからない」が14.1%となっている。

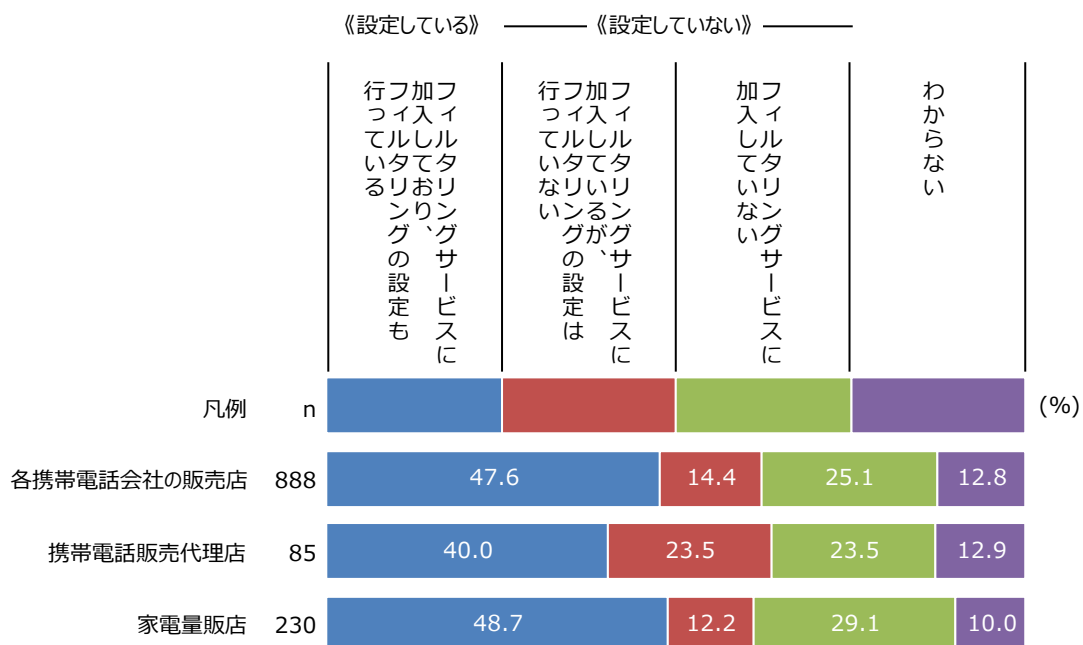
児童・生徒別では、「設定している」は小学校高学年(53.3%)と中学生(51.8%)が半数を超えている。一方、《設定していない》は高校生が49.7%で最も高くなっている。



スマートフォンの通信事業者別では、「設定している」は『MNO（移動体通信事業者）』が51.7%で、『MVNO（仮想移動体通信事業者）』は35.2%となっている。



スマートフォンの購入場所別では、「設定している」は『家電量販店』が48.7%、『各携帯電話会社の販売店』が47.6%、『携帯電話販売代理店』が40.0%となっている。

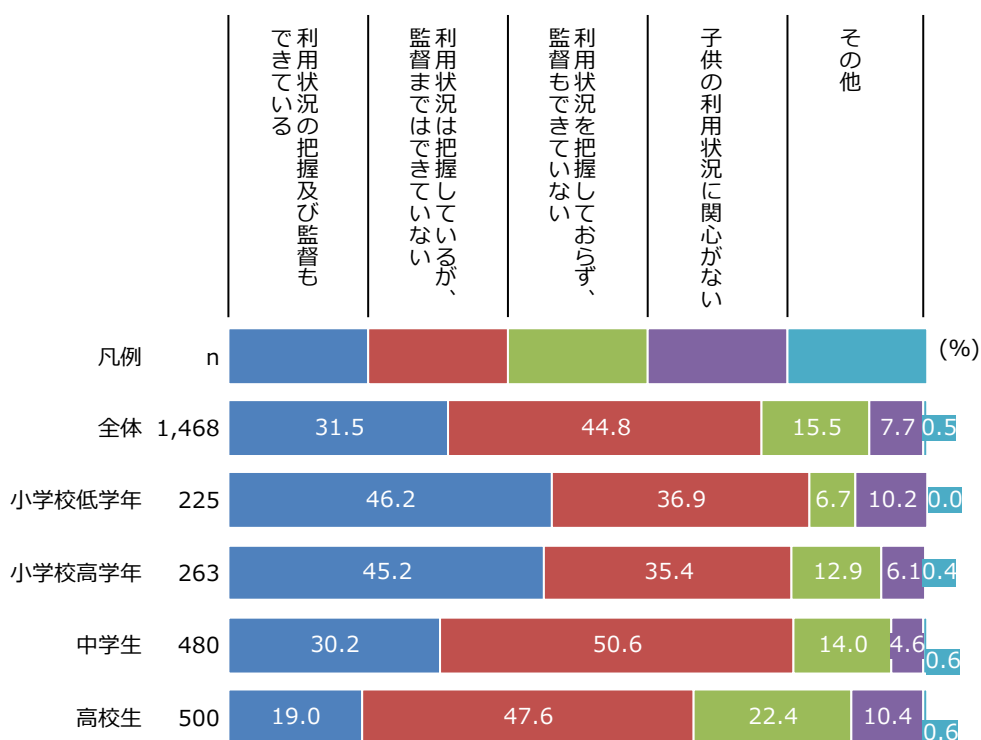


(5) 適切な監督

Q42お子さんの携帯電話・スマートフォンの利用時間、利用金額、利用サイト等を把握し、適切に監督することができますか。(1つだけ)

子供の携帯電話・スマートフォンの利用を適切に監督できているかについて、「利用状況は把握しているが、監督まではできていない」が44.8%、「利用状況の把握及び監督もできている」が31.5%「利用状況を把握しておらず、監督もできていない」が15.5%となっている。

児童・生徒別では、小学校低学年と小学校高学年では、「利用状況の把握及び監督もできている」がそれぞれ46.2%、45.2%と5割近くになっている。一方、中学生と高校生では、「利用状況は把握しているが、監督まではできていない」がそれぞれ50.6%、47.6%と5割前後になっている。



【その他（主な内容）内訳】

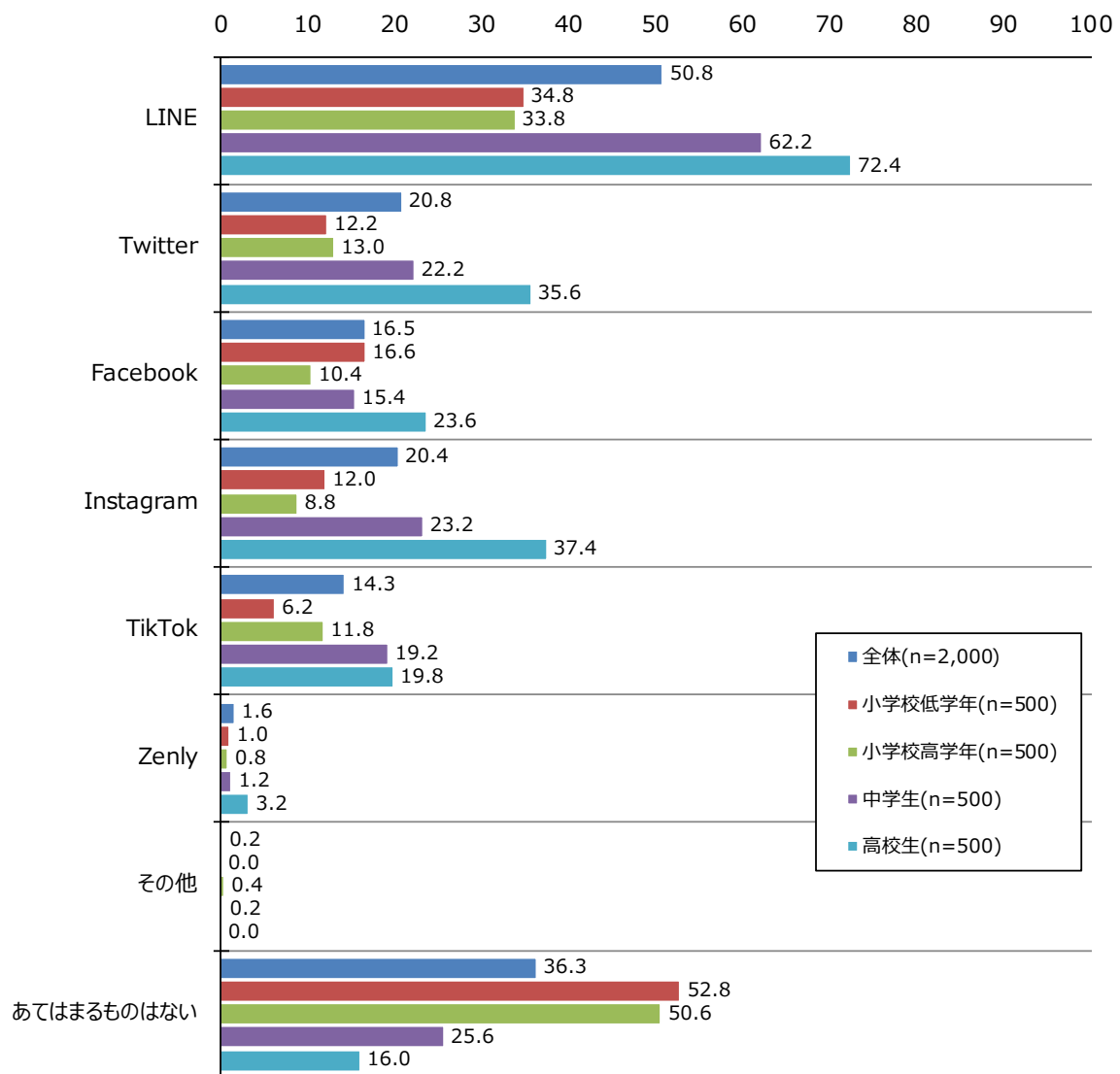
その他（主な内容）	件数	(%)
・必要ない（心配していない）等	4	0.3
・その他の回答	3	0.2
その他 合計	7	0.5

(6) 子供の方が使い方について詳しいと思う SNS

Q48保護者の方に比べて、お子さんの方が使い方について詳しいと思う SNS についてあてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

子供の方が使い方について詳しいと思う SNS については、「LINE」が 50.8%と最も高く、次いで「Twitter」が 20.8%、「Instagram」が 20.4%となっている。また、「あてはまるものはない」は 36.3%となっている。

児童・生徒別では、「LINE」は、高校生が 72.4%と最も高く、中学生が 62.2%、小学校低学年が 34.8%、小学校高学年が 33.8%となっている。「Twitter」と「Instagram」も、それぞれ高校生が 35.6%、37.4%と最も高くなっている。



【その他（主な内容）内訳】

「snow」「ハングアウト」「Pinterest」が 1 件 (0.1%) ずつで、「その他 合計」が 3 件 (0.2%)。